

# イソチアニル含有の育苗箱施用剤による イネいもち病およびイネ白葉枯病の省力防除法

- ・ 播種時に処理、田植えに専念、省力的
- ・ 機械処理で均一散布、効果安定
- ・ 高い葉いもち防除効果、山間常発地でも安心
- ・ 抵抗性誘導剤、耐性菌が発生しにくい

は種時覆土前～移植当日に  
薬剤・50g/箱を  
散布するだけ！

## いもち病

最も恐ろしい病気

(減収・品質低下)  
コシヒカリ 弱い  
ひとめぼれ

## 白葉枯病

大雨で冠水時に発生



葉いもち病斑



は種時  
覆土前処理

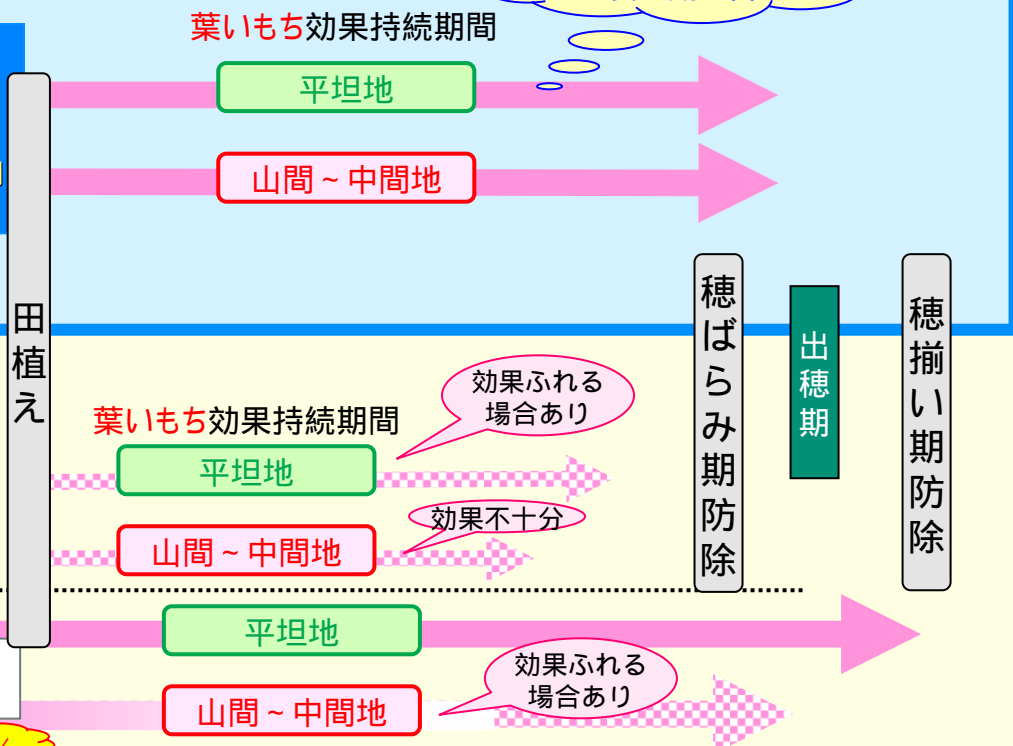
安定した高い効果  
長い効き目

### 新薬剤

イソチアニル含有の  
育苗箱施用剤  
ルーチンアドスピノ箱粒剤  
ツインターボフェルテラ箱粒剤  
スタウトダントツ箱粒剤 等  
ファーストオリゼ  
プリンス粒剤10

### 既存薬剤

は種  
Dr.オリゼプリンス  
粒剤10H  
嵐プリンス箱粒剤10  
嵐スタークル箱粒剤 等



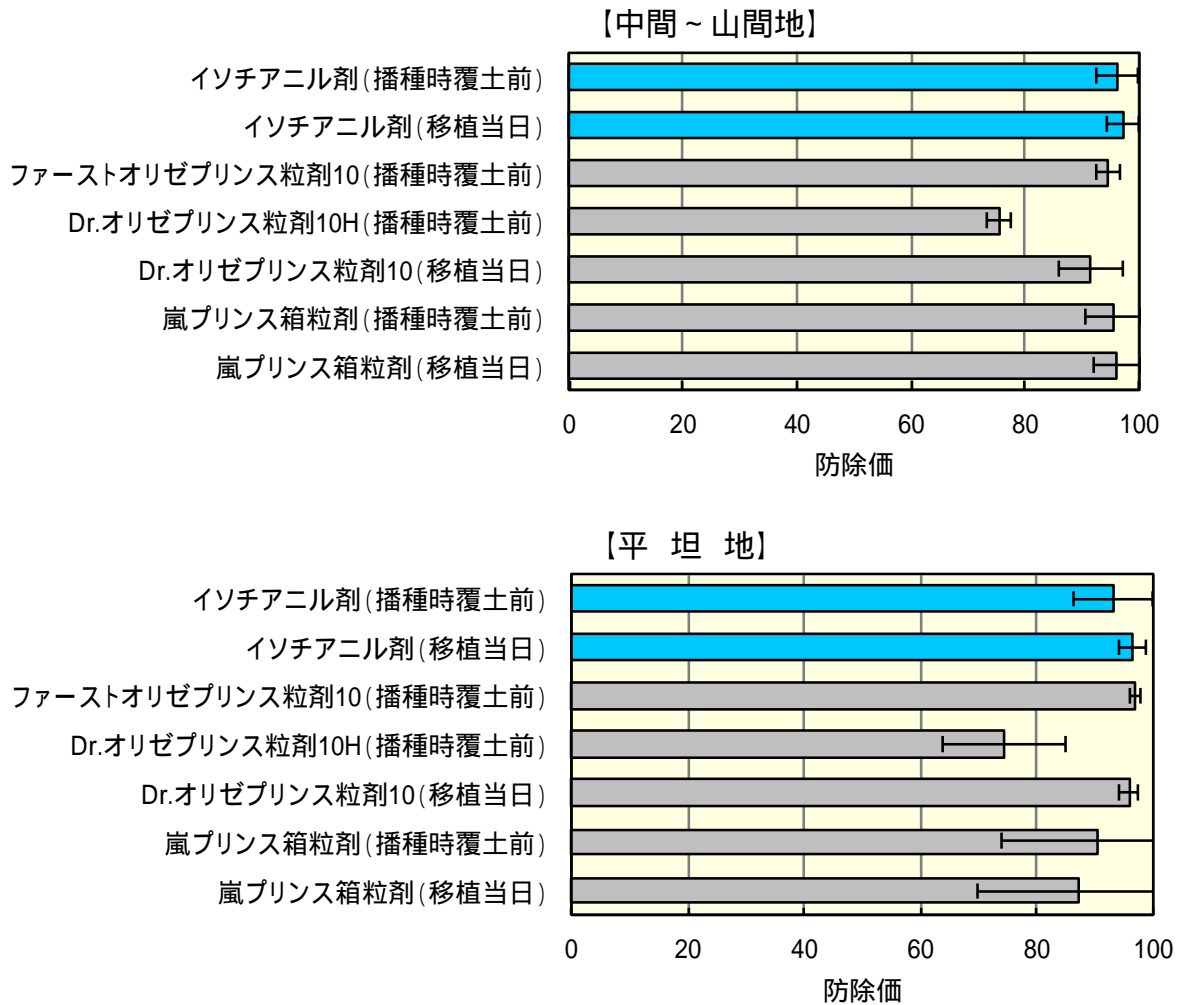


図1 イソチアニル含有の育苗箱施用剤の葉いもち防除効果 (2006～2010年)

注) 中間～山間地: 八頭町, 智頭町, 琴浦町. 平坦地: 農業試験場.

品種: 「ひとめぼれ」または「コシヒカリ」. 薬剤処理量: 50g/箱, バーは標準偏差を示す.

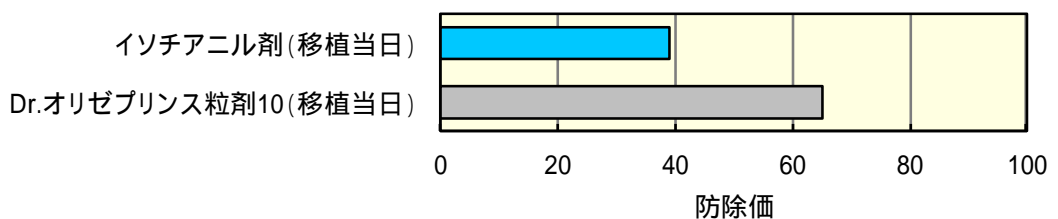


図2 イソチアニル含有の育苗箱施用剤の白葉枯病防除効果 (2006年)

注) 試験地: 鳥取市福部町. 品種: ひとめぼれ. 移植: 5/15, 薬剤処理量: 50g/箱.

### 【特記事項】

- 2011年4月1日時点の登録内容で、は種時処理可能なイソチアニル含有薬剤は以下のとおりである。  
ルーチンアドスピノ箱粒剤、ツインターポフェルテラ箱粒剤、スタウトダントツ箱粒剤等。  
なお、これらの薬剤は、は種時覆土前～移植当日等の処理が可能である。
- 穂いもちに対して、育苗箱施用剤の直接の高い防除効果は期待できないことから、別途予防防除を行う必要がある。
- 上記イソチアニル含有薬剤は、既存剤と同様に機械処理が可能である。  
また、本剤は育苗期における微生物農薬との同時処理も可能である。